

# 皮膚科

皮膚科：選択研修

指導医：皮膚科部長、皮膚科医長、指導医の資格のある医師

上級医：臨床経験が8年以上あるが指導医養成講習会未受講の医師、および臨床経験7年以下の皮膚科医

指導者：皮膚科病棟の看護師長、皮膚科外来専従看護師

## ●一般目標（GIO）

全人的医療を実践できる医師を目指すため、皮膚疾患を有する患者の診療における基本的な知識と技能，態度を習得する。

## ●行動目標（SBOs）

- ・患者およびその家族との信頼関係を確立することができる。
- ・他職種を含めたチーム医療を理解し，その中で指導医，上級医とともに医師としての役割を果たすことができる。
- ・皮膚疾患の病因と病態生理を理解できる。
- ・皮膚疾患の皮疹の定義について理解し、症状の適切な記載方法を習得する。
- ・外来受診患者の問診と皮膚所見の把握につとめカルテに記載し、指導医・上級医の診察内容と比較して理解に努めるとともにフィードバックも受ける。
- ・真菌の鏡検，Tzanck testなどの皮膚科外来でよく行う簡易検査法について，実践し判定ができるようになる。
- ・毎日皮膚科入院患者を訪問し問診などを行い、皮膚症状および全身症状の問題点を抽出し，指導医・上級医に報告し対処法を相談する。
- ・皮膚科への対診依頼患者を指導医・上級医とともに診察し，皮膚科への対診依頼の仕方や治療法とその効果を学ぶ。
- ・代表的皮膚疾患の病理所見を理解し，病理標本を観察し診断を考察する。
- ・代表的疾患の治療法（内服，外用，注射）を理解し，処方や指示ができるよう努める。
- ・創傷・熱傷患者の処置法（消毒や包帯法を含む）を学び簡単なものを実践できる。
- ・膿瘍の皮膚切開について指導医・上級医の指導の下で行い，単独で実施できるようになる。
- ・皮膚の縫合法を学び，外傷患者の縫合の簡単なものが実践できる。
- ・筒状メス（トレパン）を用いた生検法を学び実践できる。
- ・救急、時間外診療において多い皮膚疾患とその対処法について学ぶ。

## ●方略

<病棟業務>

- ・平日は午後 2 時から毎日皮膚科医師と研修医の全員で入院患者の処置を行う。指導医・上級医とともに診察と処置を行いその方法を学び、指導の下で処方，注射，指示，対診依頼の入力などを行う。症状や処置内容をカルテに入力して，指導医・上級医のチェックを受ける。
- ・午前中に入院患者を訪問し，症状につき問診し，カルテ記録などもチェックする。症状の変化など問題があれば指導医・上級医に相談する。

#### <外来業務>

- ・平日午前中は指導医・上級医の外来診察を見学する。診察や処方，処置について学び，疑問があれば質問するか，後に参考書・文献で調べる。
- ・簡易検査や創傷処置、軟膏処置，創の縫合，生検などは可能な場合は指導医・上級医の指導を受けて実施する。
- ・指導医・上級医の入院患者の往診に同行し，診察，検査，治療を学ぶ。

#### <予約検査，手術>

- ・パッチテストやプリックテストなどのアレルギー検査，光線テストなどを指導医・上級医とともにに行い，実施方法や判定法を理解する。
- ・手術室や外来で行う手術の介助に加わり，手技を理解する。研修医が実施可能な部分については監督下で行う。

#### <症例検討，写真カンファレンス>

- ・入院，外来患者のすべての臨床写真を全皮膚科医とともに検討する。問題例や典型的所見が記録されているので，その解説を聞いて皮膚症状などの理解に努める。
- ・経験した患者に関連する英文論文を指導医・上級医が与え，研修医が読んで内容を紹介する。

#### 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診 外来見学	病棟回診 外来見学	病棟回診 外来見学	病棟回診 外来見学	病棟回診 外来見学
午後	病棟処置（全員） 手術，検査 往診	症例検討 病棟処置（全員） 手術，検査 往診	病棟処置（全員） 手術，検査 往診	病棟処置（全員） 手術，検査 往診	病棟処置（全員） 手術，検査 往診

#### ●評価

- ・研修終了時に，当院あるいは各研修医の履修する病院のプログラムにより指定された方法に従って指導医が評価する。
- ・診療態度やコミュニケーションなどについては研修中に関わった看護師などのスタッフの評価を聞き取るか，評価を依頼する。

#### ●その他

- ・<経験あるいは学習すべき疾患>

アトピー性皮膚炎，接触皮膚炎，蕁麻疹，中毒疹・薬疹，乾癬，感染症（皮膚膿瘍，蜂窩織炎，白癬，カンジダ症，帯状疱疹，水痘，単純ヘルペス，疣贅，梅毒，疥癬），褥瘡，糖尿病性潰瘍，皮膚癌

・ < 基本的検査手技および治療手技 >

真菌検査法（KOH法），Tzanck test，皮膚の細菌培養，皮膚生検，ステロイドなどの外用薬の使用法，抗ヒスタミン薬の使用法，軟膏処置，創傷処置，熱傷処置，包帯法，膿瘍の皮膚切開，創傷の縫合